2025 夏が好き！本が好き！！

～先生方が推すこの夏の１冊～

図書館だより特別版　2025 年７月 14 日号
秋草学園高等学校　図書館

関口校長先生のおすすめは…

①913.6-ｱ　『カフネ』　阿部暁子‖著　講談社

ポルトガル語で愛する人の髪をなでるしぐさを意味する「カフネ」という名前の家事代行業を手伝うことになった女性が主人公の物語です。母になれず、妻の資格を失い、両親からも疎まれ、絶望の中でアルコール中毒寸前の主人公は、亡くなった最愛の弟の元恋人に誘われて関わった「カフネ」での介護、貧困、LGBT 等、現代の様々な問題に出会いながら自らを立て直していきます。その鍵になったのが「温かい食事」と「自分も誰かを助けられると思うこと」です。順風満帆な人生はほぼあり得ないわけで、生きていくことは、時につらく厳しいことがありますが、そんな時に生を繋ぐ希望になるのが、一緒にご飯を食べてくれる人がいることと、自分も誰かの役に立つことができると思えることだと感じさせてくれる一冊です。是非、一読を。

『バニラな毎日』（賀十つばさ著）、『しあわせは食べて寝て待て』（水凪トリ著※コミック）も心の健康と食べ物に関わる本です。こちらも読んでみてください。

関口校長先生のおすすめは…

②816-ｺ　『文章は、「転」。〈自分の言葉〉で書く技術』　近藤康太郎‖著　フォレスト出版

朝日新聞社に勤務する記者、百姓、猟師、作家・評論家である著者による相手の心に響く文章を書くための解説書です。

著者によると、チャット GPT に代表される生成ＡＩでも文章は作れるが、文章の肝になる「転」の部分が欠落してしまうそうです。「転」は、ある事象に直面して自分がどう感じて何を考えたかが前提になるからだとしています。そして文章を書く前提として、ものを感じる力、五感を鍛えることの大切さを説いています。夏目漱石『門』、茨木のり子「自分の感受性くらい」など名文を読むことをはじめ自分の感性を磨く習慣づくり、感受性筋トレを勧めています。また、本書は文章づくりの腕を上げるための指南書にとどまらず、感性を磨くと「生きることが楽しくなる」ことにも気付かせてくれる一冊だと思います。この本の他、丸谷才一『文章読本』、本多勝一『日本語の作文技術』も参考になると思います。こちらも読んでみてください。

中村副校長先生のおすすめは…

①376-ﾋﾞ　『17 歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。』　びーやま‖著　ダイヤモンド社

図書館にある本です。作者：びーやまは、「You Tube」にも出演。

不平等な社会で、唯一平等な大学受験から始まり、

①「持っていて損はないもの。それが学歴」

②「学歴とは武器である」。ここであえて「武器」と言っているのは、学歴は使い手の力量によって必殺技になることもあれば、使い物にならないこともある。仮に学歴があったとしても、人間性が備わっていなければ意味がないし、学歴にあぐらをかいて努力を怠るようでは、どんな場所でも活躍することはできない。武器を活かすも殺すも自分次第。と読み続けて、最後は参考書の提示もある。「大学 TOP5」もあるので手に取ってください…ね。

中村副校長先生のおすすめは…

②913.6-ｽ　『ゲーテはすべてを言った』　鈴木結生‖著　朝日新聞出版

ドイツの文豪として知られているゲーテ。詩、戯曲、小説など幅広いジャンルの作品を書き、特に『ファウスト』や『若きウェルテルの悩み』などの作品は世界中で広く知られている。あまり関係ないが、私は中学時代に買った「ゲーテの詩集」に 100 円札をいまだに忍ばせている。ゲーテは、科学への造詣も深く、特に進化論に精通する。本の内容はミステリー要素があり、ほっこりしたストーリーで、話も小難しくない。

遠山教頭先生のおすすめは…

『17 歳からのドラッカー』　中野明‖著　学研パブリッシング

あなたは「自分の強みって何だろう？」と考えたことはありますか？この本は、世界的な経営学者ピーター・ドラッカーの考えをもとに、自分の行動や考え方をどうマネジメントしていくかを教えてくれる一冊です。とはいっても、難しい理論書ではありません。高校生にもわかるやさしい言葉で、「時間の使い方」「目標の立て方」「人との関わり方」など、日常にも活かせるヒントが紹介されています。自分らしさを見つけたいときや、進路に悩んでいるとき、「どうせ無理」とあきらめそうになったとき、この本はあなたに新しい視点をくれるはずです。勉強にも部活にも、日々の過ごし方にも、自分で考えて動く力を育てたい人におすすめです。

植村先生のおすすめは…

B913.6-ﾁ-1『天久鷹央の推理カルテ』　知念実希人‖著　新潮社

自閉症スペクトラムでサヴァン症候群の天才医師　天久鷹央(あめくたかお)と、大学病院から派遣されてきた内科医　小鳥遊優(たかなしゆう)がバディとなって、他科では診断困難とされた病気や警察でも解決が難しいとされる謎を医療的視点で次々と解決していく医療系ミステリー。小鳥遊の視点で進む話は、医療系の専門的用語も多いけれど、読みやすく面白くどんどん読める！1 話完結型なのでシリーズのどこから読んでも楽しめます。橋本環奈、三浦翔平が鷹央と小鳥遊を演じるテレビ朝日のドラマも、期待を裏切らずお薦めです！

秋野先生のおすすめは…

913.6-ﾀ-1　『銀河英雄伝説』　田中芳樹‖著　徳間書店

私の中ではスターウォーズよりもこちらの方が SF として最高だと思っております。ぜひ読んでみてください。

伊久美先生のおすすめは…

①913.6-ｲ　『パラソルでパラシュート』　一穂ミチ‖著　講談社

恋愛以外の関係でつながる男女が好きな人におすすめです。

伊久美先生のおすすめは…

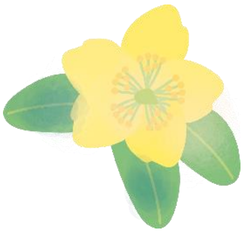
②913.6-ﾕ　『あいにくあんたのためじゃない』　柚木麻子‖著　新潮社

したたかな登場人物に会いたい人におすすめです。（短編集なので、合わないかもと思ったら次の話に飛んでもよい。）

伊久美先生のおすすめは…

③913.6-ｱ　『正欲』　朝井リョウ‖著　新潮社

「彼氏つくって恋愛結婚してママになりたい」という“普通”にあてはまれない人におすすめです。



稲本先生のおすすめは…

①913.6-ユ　『盤上の向日葵』　　　柚月裕子‖著　　　中央公論新社

以前、読んだ本なのですが。

大好きな俳優さん主演で映画化されると聞き、また手にとったしだいです。静かに時が流れていく……。そんな感覚の１冊です。

稲本先生のおすすめは…

②726-ナ　『泣きたい夜の甘味処』　中山有香里‖著　　KADOKAWA

昨年あたり、紹介した本ではありますが、日々生活していく中で、私のバイブルとなってしまった１冊です。特に「パフェ」のくだりを何度も読みかえしています。心がしんどいときは。

稲荷先生のおすすめは…

B491-ピ　『話を聞かない男、地図が読めない女』　　アラン・ピーズ, バーバラ・ピーズ‖著　主婦の友社

「男と女は何故理解し合えないのか」そんな謎を遺伝子や進化・脳のつくりの違いから語っている一冊です。これを読めば、相手を許せる心が持てるかも…？

太田興一先生のおすすめは…

914-ナ　『この子を残して』　　永井隆‖著　　サンパウロ

皆さんは戦後まもなく動けない体で執筆活動をしていた永井隆さんをご存じだろうか。長崎医科大学病院の放射線科医。当時では職業病とも言える白血病で余命僅かと診断されていた。そのタイミングで原爆が投下され被ばく、妻は亡くなってしまった。彼には幼い二人の子どもがいた。残される子どもたちの生活費のために、彼は力を振り絞った。この作品は、『間もなく孤児になってしまう兄妹への、親としての切ない想い』がダイレクトに記されている。

朝日新聞の６月 12 日の“折々のことば”に、作中の次のことばが紹介されていた。

「泣くべきときに泣いておけば胸には何もたまらない」

今年は戦後 80 年、親のありがたみとともに、平和について深く考えてみてはいかがだろうか。

大畠先生のおすすめは…

596.4-ハ　『小分け冷凍派も!コンテナ派も!はこの５分で朝ラク冷凍弁当』　はこ‖著　宝島社

書店の料理本コーナーで表紙の写真やおかずの種類に魅力を感じ購入しました。

美味しいおかずが沢山掲載されています。作ったおかずを冷凍する際の気を付けるポイントなども詳しく書いてあります。お弁当作りをやってみようと思っている人へ、ぜひ週末の空いた時間に挑戦してみてください。

小川先生のおすすめは…

B913.6-ナ-1 『ケーキ王子の名推理（スペシャリテ）』　　七月隆文‖著　　新潮社

私が高校生の時に出会ったシリーズです。

ケーキが大好きな女子高生と学校一のイケメンの物語で、少女漫画のような内容なので、読書をする習慣がない人にもおすすめです！全７巻、完結済なのでぜひ読んでみてください！

荻野先生のおすすめは…

376-ﾋﾞ　『17 歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。』　びーやま‖著　ダイヤモンド社

筆者が大学受験の時に感じたこと、その後社会に出て自身が学歴について感じたことが述べられています。

17 歳という高校生の真っただ中にいるみなさんが知りたいことがたくさんちりばめられています。筆者一人の体験談ではあるので、深くうなずくことや首をかしげることなどもあるはずです。

自分の進路について、自分は本当はどう考えているのか、見つめ直すきっかけになると思います。

奥村先生のおすすめは…

837-ﾁ　『英語でちょっといい話ベストセレクション 泣ける、心いやされる、力がわく』　アルク出版編集部‖著　アルク

本書には、長く広く読まれ続けている、作者不明の「ちょっといい話」が計 51 編収録されています。

物語の英文は、初級中級レベルの語彙をベースにリライトされており、固有名詞や難しいと思われる単語には語注がついています。また、すべての話に日本語訳がついているので、英語が苦手な人もチャレンジしやすいです。さらに、英文朗読音声も無料でダウンロードできるので、英語学習の教材として利用することができます。

ぜひ 51 話の中から自分のお気に入りのストーリーを見つけてみてください♪

乙供先生のおすすめは…

783-ｸ-1　『栗山ノート』　栗山英樹‖著　光文社

栗山英樹さんの野球観や人生観が書かれた本。プロ野球という勝負の世界での準備や選手育成についてとても勉強になる本です。

鹿島先生のおすすめは…

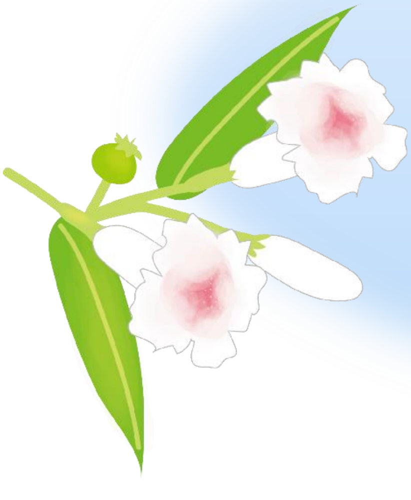
727-ﾃﾞ　『デザインのミカタ』　デザイン研究所‖著　KADOKAWA

プロの見方を知ることで、みなさんの世界が一変します！

加藤先生のおすすめは…

S723-ﾅ　『「怖い絵」で人間を読む』　中野京子‖著　NHK 出版

タイトルだけ見るとあまり読む気になれそうにもありませんが、この本に紹介されている絵画は、中世·近世のごく普通の西洋絵画です。とくに鑑賞する人に対して嫌悪感をもよおすような絵画を紹介しているわけではありません。そこから先は読んでからのお楽しみですが、かんたんに紹介すると、著者の中野京子さんはその絵画が描かれた時代背景や人間模様を丁寧にひも解いて解説しています。絵画鑑賞に新たな視点をもたらしてくれます。シリーズ化もされているので、興味·関心を持ったら続編も読んでみてください。



金井先生のおすすめは…

①　　　　　『まおゆう魔王勇者：「この我のものとなれ、勇者よ」「断る！」』

橙乃ままれ‖著　　　　　角川書店

【ジャンル】この作品は小説でもノンフィクションでも新書でもない。ジャンルはラノベだが、一般的なラノベとも異なる。某巨大掲示板に投稿された“SS”という作品群の１つである。大きな特徴は、まるで劇の台本のように会話以外の文章がほとんどないこと（99%会話や独白文）、登場人物に個人名がないこと（勇者や商人など役職しか書かれない)。ケータイ小説やなろう系小説とも異質なスタイルをご堪能あれ。

【内容】勇者の冒険の末に魔王との最後の戦いに挑むありがちなシーンから始まり、ふたりの最初の一声がタイトルである。このひと悶着のあと、ふたりはとある契約を交わす。魔王の目指す人類と魔族の戦争の終結の形とその先を求めて。そのための“力”は剣と魔法だけではない。一例を記しておくので興味があればぜひ読んでほしい。戦争・経済・農業・工業・教育・発明・宗教・種族・国策・奴隷制・人権・交易・疫病・議会・同盟

金井先生のおすすめは…

②911.5-ﾌ　『ありったけの選択肢を洗濯バサミでつるして』

不可思議/wonderboy‖著　光文社

音楽ジャンルにおけるラップの印象はここ数年でポジティブなものになっているだろう。アイドルグループの曲に含まれたり、純粋なラッパーの音楽が認められるようになったりと嬉しい限り。

そんなラップの手法の一つに『ポエトリーリーディング』というものがある。知る人はほとんどいないだろう。その世界のラッパーである不可思議/wonderboy の初詩集である。彼は 2011 年に亡くなっている。彼の残した楽曲は今でも愛され、死んで伝説になった。好みは分かれるだろうが聴いてほしい。『Pe l licule』『銀河鉄道の夜』『生きる』。そして聴いたら思うはずだ。もっと彼の世界や表現を聞きたいと。それは叶わないが、残された未発表の作品群が詩集となって発表されるのだ。

不可思議/wonderboy の命日である 6/23 日に発売される。僕もまだ手元にない。受け取ったら本に対して言うのかな。「久しぶり、どうしたんだよ。」

兼杉先生のおすすめは…

596-ｱ　　『結局、これしか作らない!短いレシピ』　　　あすけん‖著　　　ワニブックス

栄養バランスが整いやすい。主食、主菜、副菜を組み合わせた定食スタイルを基本に 1 食あたり 500kCal 台の昼食、夕食のレシピが掲載されている。

木村先生のおすすめは…

B913.6-ｲ-2『いつか、眠りにつく日 2』　いぬじゅん‖著　　スターツ出版

高校２年生の池田光莉は、同級生の木野来斗に想いを残したまま交通事故に遭い、命を落としてしまった。この世に未練を残して亡くなった人は地縛霊となって、成仏できなくなってしまう。光莉も地縛霊になりかけてこの世をさまよっていたが、霊感の強い瀬川倫とあの世への案内人クロの助けによって、光莉は自分の未練に向き合っていく。成仏までの期限は７日で、それまでに未練を解消しなければ永遠に地縛霊となってしまう。光莉は未練を解消するために奔走し、ついに夢にまで見た来斗に再開する。そこで驚愕の事実を知ることになる。

誰もが予想だにしなかった結末に、あなたは必ず涙することでしょう。

ハンカチ必須です！！ぜひ読んでください！！

楠見先生のおすすめは…

834-ｵ　『似ている英語』　おかべたかし‖文　東京書籍

「ネズミ」は英語で rat? mouse?「時計」は英語で clock? watch?「小さい」は英語で small? little?さてさて、どちらを使ったらよいのでしょう。この本は、“似ている”英語を写真で比較し、ぱっと一目で違いが分かる作りになっています。英語が苦手な人でも楽しくページをめくることができるはず。もちろん、詳しい説明も付いているので、より理解を深めたい英語学習者の皆さんにもおすすめです。

栗山先生のおすすめは…

410-ﾅ　『世界でいちばん素敵な数学の教室』　永野裕之‖著　三才ブックス

「ハチの巣ってどうして六角形なの？」「数学を“学問”として始めたのは誰？」

そんな素朴な疑問から、身の回りにある数学の不思議にせまっていく一冊です。

写真やイラストがたっぷり使われていて、難しい知識がなくても、数学の美しさやおもしろさを直感的に楽しめます。数や図形、数式に秘められた意外な一面を、あなたもきっと見つけたくなるはず！

ちなみに、シリーズの**『世界でいちばん素敵な単位の教室』**もおすすめです♪

黒坂先生のおすすめは…

913.6-ﾋ　『ある男 = A MAN』　平野啓一郎‖著　文藝春秋

再婚して４人で幸せな家庭を築いていたところ、夫が突然死亡する。一緒に暮らした人が偽名をかたった別人だった。

自分は裏切られたのか。愛は偽りだったのか。別人との家族の営みは虚構だったのか。立ち止まって考えながら読んでみてください。

佐久本先生のおすすめは…

S302-ｶ　『ドラマで読む韓国』　金光英実‖著　NHK 出版

本のタイトルと著者、この２つのタッグに惹かれて読んだ本です。

まずこの本を選んだ理由から！

タイトルにある「復讐」。韓国ドラマで、日本人も韓国人も私のような特にオバサン世代に大人気な、ドハマりする復讐・泥沼・愛憎・裏切り・ドロドロ・えっ？？ありえなくない？系のドラマを総称して韓国語で「マクチャンドラマ」といいます。非現実的なマクチャンドラマにドハマりした人、皆さんの周りに１人はいるのではないでしょうか？

そして著者の金光英実さん、この方は韓日翻訳家で、ドラマや映画に字幕をつけたりする有名な方です。Netflix で流行ったドラマ「梨泰院クラス」の字幕も担当されました。

単純な理由で選んだ本でしたが、韓国に興味のある人や韓流ファン、韓国好き初心者に必見の本で、すごく面白くて一気に読みました。

マクチャンドラマが生まれる社会的な背景、国民性や文化、今の実情はもちろん内容にありますが、その他の内容が多岐にわたり面白くて、わかるわかる！アレはそーなんだ！なるほど～！と思えることがたくさんある本でした。

韓国に興味があるあなた、時間があったら是非読んでみてください。読んだ後は韓国ドラマを今以上に楽しめることは間違いないです。そしてもっと韓国が好きになったり、就職や旅行をしてみたくなったり、韓国嫌だ～日本がいい！と思う人もいるかもしれません。

読んだ人がいたら、是非いろんな感想を聞かせてください♡

重田先生のおすすめは…

913.6-コ　『女の子たち風船爆弾をつくる』　　　　　小林エリカ‖著　文藝春秋

この本は、憧れの女学校に入学した東京の女の子たちと、当時の少女たちを熱狂させた宝塚少女歌劇の女の子たちが、戦争に関わり、戦争の終結を迎え、現代に至るまでの大きな流れを描く小説です。女学校に通っていた女の子たちは、戦争が進むとまともに授業が受けられなくなり、軍需工場で「風船爆弾」をつくる仕事に動員されました。女の子たちはどこに通い、何を作っているのかを他言することを強く禁じられていました。終戦後に軍の記録はその多くが焼却処分され、関わった人々の存在も忘れられていきました。こうした風船爆弾を作った女の子たちと並行して描かれるのが、宝塚少女歌劇の少女たちです。女学生から絶大な人気を集め、人々を魅了した歌劇団の少女たちもまた、歴史の流れの中で戦争に関わることになります。

この本には特定の主人公やキャラクターはいません。「わたし」や「わたしたち」を主語として、女の子たちの目から見た日本を描いています。繰り返される「わたし」あるいは「わたしたち」という一人称と、「春が来る。桜の花が咲いて散る。」というフレーズには、青春時代を戦争に奪われた、しかし巻き込まれただけとはいえない女の子たちと戦争との関わりが、そしてその事実と記憶を語り継ごうとする著者の意思が感じられます。教科書に書かれるような大きな歴史からこぼれ落ちた女の子たちの存在を、ぜひ読んで知ってもらいたいと思います。

島田先生のおすすめは…

914.6-ツ　『そこに僕はいた』　辻仁成‖著　新潮社

作家・ミュージシャン・映画監督など多彩な顔を持つ筆者の青春時代を綴ったエッセイです。とても読みやすい文章で本の世界に感情移入しながら楽しく読んだ思い出があります。気軽に手に取ってみてくださいね。

JOY 先生のおすすめは…

(英)933-P　『Auggie & me three wonder stories』　R. J. Palacio ‖著　Corgi

(日)933-パ　『もうひとつのワンダー』　R・J・パラシオ‖著　ほるぷ出版

Auggie & Me is about three kids who know, Auggie, a boy with a different face. The book has three short stories. Each story is from a different person: Julian, Christopher and Charlotte. They tell what they think and feel about Auggie. The story shows how Auggie change their lives. The book is about kindness and friendship.

鈴木先生のおすすめは…

S019-ミ　『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』　三宅香帆‖著　集英社

5:00 起床、5:00～6:00 授業準備、6:30 子どもを起こす、7:00 出発、8:30～19:00 学校、20:30 夕食、21:30～24:00 授業準備、24:00 就寝。

本屋に行って、「あっ、この本を読んでみたい」と思ったら、もちろん、それを買うお金が必要である。そのお金を稼ぐためには、いっぱい働かなければならない。そこで気づく。「あれ？本を読む時間がない」と。手っ取り早く情報を得るために、自然とスマホを見てしまう。生活がどんどん AI に奪われていく。これはいけない。

取り戻せ！文化的な自分を！

関口和孝先生のおすすめは…

①913.6-ヒ　『聖女の救済』　東野圭吾‖著　文藝春秋

「他者によって生かされている」ということはよく言われるものですが、それが互いに支えあう「共生」に基づくものなのか、何かしらの実権を握られている「延命」

を合意するものなのかのいずれかであるかは非常に大きな違いです。そして、静かなる憎悪こそが最も扱いが難しく最も強力な感情であることを思い知らされました。

関口和孝先生のおすすめは…

②498-ｶ　『休養学 あなたを疲れから救う』　片野秀樹‖著　東洋経済新報社

「休むこと＝寝ること」ではなく、「攻めの休養」をとりましょうという内容は確かになるほどなと思わされました。何にせよ「休養」は大切です。

関口和孝先生のおすすめは…

③410-ﾎ　『数学者図鑑』　本丸諒‖著　かんき出版

一見すると無味乾燥に見える「数学」も人間の営みの 1 つです。「数学」に携わってきた数々の「数学者」たちももちろん人間です。そういった「人」という視点を通じて「数学」に触れてみるのもまた一興ではないでしょうか。

染谷孝先生のおすすめは…

726-ｼ-1　『君の名は。 バイリンガル版』　新海誠‖原作 琴音らんまる‖漫画
Taylor Engel‖英語翻訳 kazuma‖英文解説　KADOKAWA

新海誠監督の大ヒット映画『君の名は。』の英語と日本語によるバイリンガル漫画です。漫画形式なので、英語が苦手な方でも無理なく楽しめます。高校生のリアルな日常が瑞々しく描かれた「君の名は。」は、まさに自然な日常英会話の宝庫です。英語力を伸ばしたい方や、もう一度物語を味わいたい方におすすめの一冊です。

染谷凌平先生のおすすめは…

E-ｵ　『たべてあげる』　ふくべあきひろ‖ぶん おおのこうへい‖え　教育画劇

子供向けの絵本ですが、大人が読んでもトラウマに？
これを子供に読ませれば、子供が好き嫌いしなくなるかも！！！

髙橋先生のおすすめは…

B593-ｼ　『ココ・シャネルの言葉』　山口路子‖著　大和書房

「私は、私の人生を作り上げた。なぜなら、私の人生が気に入らなかったからだ」。貧しい子ども時代を経て、「シャネル帝国」と呼ばれる一大ブランドを築き上げ、莫大な富と成功、愛を手に入れたシャネル。彼女は社会の枠組みや常識を嫌った。シャネルは、自分が自由に生きることで、その生き方にふさわしい服を提案し、女性の生き方に革命を起こした。シャネルの生涯で、強く情熱ある言葉を集めた一冊。

田中先生のおすすめは…

913.6-ﾖ　『クライマーズ・ハイ』　横山秀夫‖著　文藝春秋

日航機 123 便墜落事故が題材の小説です。事故報道を行う地方新聞社の記者が主人公で、登山が好きな主人公が、事故取材の責任者になって翻弄し、悲惨な事故の報道をどのようにすればよいのか悩みながらも、記事にしていく物語です。

この作品の地方新聞社は実在する上毛新聞社がモデルとなっており、作者も実際にこの新聞社で記者として働いていた時の体験が物語のもとになっていますのでリアリティーがあります。

因みに、上毛新聞社は嵐の櫻井翔のお爺さんも記者をしていたという。地元では有名な新聞社である。

塚田先生のおすすめは…

①913.6-ｱ　『カフネ』　阿部暁子‖著　講談社

2025 年度本屋大賞受賞作ですが、さすが本屋大賞というだけあって、引き込まれるように読んでしまいました。

塚田先生のおすすめは…

②B913.6-ｲ　『幸村を討て』　　　　　　今村翔吾||著　　　　　中央公論新社

今村さんの文章が大変上手で、戦国時代の武士たちが活き活きと描かれています。

読書は心に栄養を与えてくれるとともに、知識の宝庫ともいえます。夏の長期休暇で沢山本を読み、心を豊かにしていきましょう！

奈須先生のおすすめは…

913.6-ｲ　　『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎夏海||著　　　　　　　ダイヤモンド社

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」…敏腕マネージャーと野球部の仲間たちが甲子園を目指して奮闘する青春小説。高校野球の女子マネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のために、ドラッカーの『マネジメント』を間違って買ってしまいます。はじめは難しくて後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気付きます。これまでのドラッカー読者だけでなく、高校生や大学生、そして若手ビジネスパーソンなど多くの人に読んでほしい一冊。

平田先生のおすすめは…

159-ｶ　　　『小さいことにくよくよするな!』　　リチャード・カールソン||著　　サンマーク出版

「しょせん、すべては小さなこと」。これはこの本の副題にもなっています。

筆者が「心の持ちよう」について説いた一冊で、日頃から些細なことを気にしてしまいがちな人におすすめです。考え方の話もあれば実践できる Tips のような話もあります。

私はこの本に書かれていること、前々から実践できていました！読み返すと勇気をもらえます。

福島先生のおすすめは…

S374-ｻ　　『教員不足』　　　　　　　佐久間亜紀||著　　　　岩波書店

著者は、慶應義塾大学教職課程センター教授で、専門は教育学、教職論で教師の力量形成の方法や歴史を研究すると共に、各地の学校現場で授業つくりに取り組んでいらっしゃる方です。

新学期に担任の先生がいない、病休の先生の代理が見つからない……、そんな悲鳴が全国の学校で絶えまなく上がっています。少子化にもかかわらず、事態が深刻化されるのはなぜか？教育現場の過密化する業務、増大する非正規、軽視される専門性など、問題の本質を独自調査で追及し、教育格差の広がるアメリカの実態も交えながら教育をどう立て直すか提言しています。

将来教職を目指す方だけでなく現役の先生方が、更に志高く教育に長く携わっていて頂くためにも、読んで頂ければ幸いです。

著者略歴：早大卒、東大大学院、スタンフォード大学客員研究員などを歴任

本多先生のおすすめは…

943-ﾍ　　　『車輪の下』　　　　　　　ヘッセ||著　　　　　　新潮社

私がこの本を初めて読んだのは、中学校の２年の頃だったか？そして高校生の時に、さらに大学生の卒業前に読んだのを記憶している。

あらすじをネットで調べてみた。主人公のハンスの物語である。「そういえばこんな話だったな」となんとなく思い出してきた。

中学、高校、大学と、私はどんな気持ちで読んでいたのか、そして今、私はどんな思いで読むのか、気になってきました。

この夏休みに、ゆっくりと読みたいと思います。

車輪の意味、そしてハンスの死、私のこの年でどういう感情が湧いてくるのか。そういう内容の本です。是非皆さんもこの本を手にとってもらいたいと願っています。

升田先生のおすすめは…

S780-ｵ　『勝つ人のメンタル』　大儀見浩介‖著　日本経済新聞出版社

トップアスリートに学ぶ心を鍛える法。最高のメンタル状態を作り、本番に強くなる！

松下先生のおすすめは…

371-ﾆ　『わかったつもり』　西林克彦‖著　光文社

文章が「読める」、「読めない」の差異は何だと思いますか？どの程度のレベルで人は「読めない」と判断するのでしょう。また、「読めた！」としてもいざ要約しようとして筆が止まる、なんてことありませんか。

今回紹介したいこの本は、私たちが普段読む文章に焦点をあてて、「（文章の内容が）わかる」状態から「よりわかる」状態へとより行くまでの過程を、具体例をもとに解説しています。

「現代の国語」や「論理国語」等の文章読解を攻略したい人向けの１冊です

丸一先生のおすすめは…

①597-ｺ　『人生がときめく片づけの魔法』　近藤麻理恵‖著　サンマーク出版

「こんまり」こと、近藤麻理恵さんが教えてくれる片付け法。

昨年度引っ越した私は、新しい家はとにかく物を減らしたい！と思っていたのでこの本を読みました。片付けに必要なのは、「ときめき」だそうです。

丸一先生のおすすめは…

②159-ｱ　『センスいい人がしている 80 のこと』　有川真由美‖著　扶桑社

センスって何だろうな。

アラサー女性がふと手に取った本でした

「朝の時間は自分軸で過ごす」という言葉が印象に残っています。

水谷先生のおすすめは…

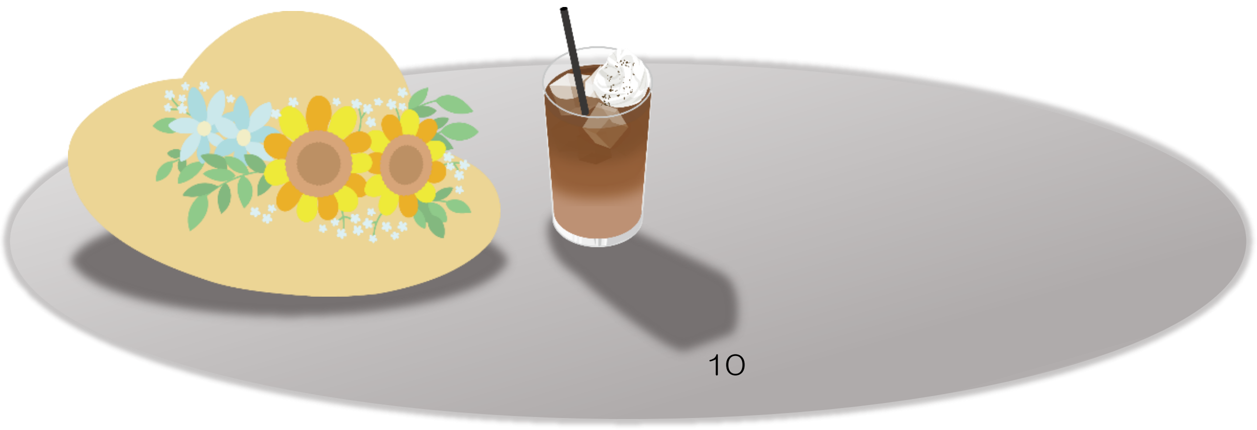
B933-ﾃﾞ　『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』　フィリップ・K.ディック‖著　早川書房

好きな本は？と聞かれて、パッと答えられるとカッコ良い（気がする）題名の本は沢山あります。「誰がために鐘は鳴る」「ツァラトゥストラはかく語りき」「若きウェルテルの悩み」「限りなく透明に近いブルー」「山羊の歌」。

ただ、これはあくまで私の持論ですが、今後人類が何十万年生きようとも、「アンドロイドは電気羊の夢を見るか」を超えるタイトルを生み出すことはできないでしょう。カッコ良さすぎる。なにせ意味が分からない。でも読めばわかる。読んだ人にだけわかる。そういうの、合言葉みたいで良いですよね。

ざっくりとしたあらすじは、賞金稼ぎの主人公が大金を稼いで夢のペットを飼うために、賞金首のアンドロイドたちを追う話。ちょっと渋めの少年漫画みたいな舞台設定です。

GPT、Gemini、Claude。生成 AI が登場し、とっくに情緒面でも知能面でも人間を追い越した現在。名作を読んで「人間」とは、「あなた」とはなにかを問いましょう。



守谷先生のおすすめは…

①911.1-ｵ　『落雷と祝福』　　　　　　岡本真帆‖著　　　　朝日新聞出版

　この夏は「脱・積読」を目指したいです。Kindle 端末を手に入れ、さらに積んでる。毎年楽しいこの企画（桔梗祭の POP も大好き）、今年は「まだ読んでないけど読みたくて買った本」を挙げました。部屋には７倍くらいあります。夏休み明けに読み終わってたら褒めてください。以下、オタク特有の早口で再生すると楽しいですよ。
　最近文芸界では「短歌×エッセイ」が熱いらしい。（寺井奈緒美『生活フォーエバー』がその走りか）収録テーマに「ちいかわ」「女の園の星」とあれば買わざるを得ない。下北の本屋 B&B で買ったサイン本です。BONUS TRACK には日記専門店もあるのでおすすめ。

守谷先生のおすすめは…

②914-ｱ　　『ロイヤルホストで夜まで語りたい』　　　　朝日新聞出版‖編　朝日新聞出版

　ロイホへの愛が詰まったエッセイ集。私、カシミールカレーとオニオングラタンスープとフライドポテト（についてくるアイオリマヨ）がだぁああああああいすき。
　ZINE なので個人書店でしか買えませんが、『ロイヤル日記｜佐々木里菜』も一緒に積んであります。

守谷先生のおすすめは…

③933-ｶ-1　『レット・イット・ゴー エルサとアナがおたがいを知らずに育った〈もしも〉の世界』

ジェン・カロニータ‖著　　　　　Gakken

　「もしもエルサとアナがおたがいを知らずに育っていたら?」
　映画で語られたのとは違う、「歪んだ」世界のプリンセスたちが描かれたシリーズ物。『ラプンツェル』は「太陽ではなく月の魔法を宿した女の子」、『アリエル』は「父を失い、愛する王子を魔女に奪われた海底王国の女王」…この２作は読んだのですが、大本命のアナ雪がまさかの未読。英語版でも読みたい。

守谷先生のおすすめは…

④913.6-ｱ　『正欲』　　　　　　　　朝井リョウ‖著　　　新潮社

　推しがインタビューで「お人間さんにおすすめしたい本」に挙げていたので読むしかないと思ったんですねぇ、はぁい。
　『自分が想像できる”多様性”だけ礼賛して、秩序整えた気になって、そりゃ気持ちいいよな。』…ぎくっ。

守谷先生のおすすめは…

⑤B913.6-ｱ-1『春夏秋冬代行者 夏の舞』　暁佳奈‖著 スオウ‖イラスト　　KADOKAWA

　かつて、神々たる四季は、人間の一部にその力を与えた。春、夏、秋、冬。それぞれの季節を顕現する者は“四季の代行者”と呼ばれ、権能を得た彼・彼女らは、人の身でありながら季節そのもの、つまり、現人神となった。
　これは既刊読破したうえでのおすすめ。１作目は『春の舞』ですが、夏の発行なのでこちらにしました。夏の神様になってしまった妹と、その護衛官である姉、という双子姉妹がメインキャラ。作者は『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』で知名度を上げたように思いますが、個人的には日本らしさを感じるこの作品の方が好きかな。
　（ちなみに挿絵のスオウさんは小柳ロウ君のお母上です）

山﨑先生のおすすめは…

361-ｸ　　　『被差別部落に生まれて 石川一雄が語る狭山事件』 黒川みどり‖著　岩波書店

　戦後を代表する冤罪事件「狭山事件」。被差別部落に生まれた、ただそれだけの理由で石川一雄は殺人犯として逮捕された。貧困ゆえの無学に苦しんだ生い立ち、三二年に及ぶ獄中生活と部落問題への目覚め、仮出獄後も続く無罪を勝ち取るための闘い―その半生を巡りながら、部落差別が冤罪を生み出したことを明らかにする。

　私が中学校の頃、社会の授業の時に取り上げられ、衝撃を受け、すぐに本を買い、読んだことを思い出します。現在もその後を取り上げ、本が出版されています。社会的弱者が犠牲になることのないように、一人でも多くの人に事件を知ってもらい、関心を持ってほしいと思っています。

結城先生のおすすめは…

B911.3-ﾊ　『郷愁の詩人　与謝蕪村』　萩原朔太郎‖著　　　　岩波書店

　月天心貧しき町を通りけり

　月が夜空の中心に達した頃、貧しい町を通り過ぎた。江戸時代の俳人・与謝蕪村の句です。優れた画家でもあった蕪村の句は、客観的に情景を詠んだもの評されていますが、日本近代詩の父とも称される大正時代の詩人の萩原朔太郎は、蕪村を本書で、客観的特色の背景に強い主観があり、「郷愁」の詩人であると述べています。そして、冒頭の一句を名句として、その寂寥感を絶賛しています。

　空に冴える中秋の白い月、その氷のような月光が、寝静まった地上の町を独り照らしている。

　詩とは何か、見るとは何か、感じるとは何か―そういうことを語る一冊です。

湯本先生のおすすめは…

913.6-ｲ　　『宙(そら)わたる教室』　　伊与原新‖著　　　　　文藝春秋

　舞台は都立の定時制高校。年齢も、成育歴もバラバラ。それぞれがさまざまな事情を抱えながらも、理科教師「藤竹」とともに科学部で新たな挑戦をする――。

　NHK のドラマにもなったようですが、正しい知識と意欲を持った大人が近くにいることの大切さを改めて感じる一冊でした。人を傷つけ、ダメにするのも人かもしれませんが、一方で救いを与え新たな生き方に気付かせてくれるのも、また人である、ということで。人はそう単純ではありませんから、うまくいくときも、そうでないときもあるけれど、目の前の人と真剣に関わっていくことの意味を感じさせてくれる、いい本でした。

吉浪先生のおすすめは…

361-ｶ　　　『バナナの魅力を 100 文字で伝えてください』　柿内尚文‖著　　　かんき出版

　この本は、相手に自分の考え方を分かりやすく伝えるための 36 種類のコミュニケーション方法の法則を紹介してくれる本です。

　「言語化が苦手」「伝えるのが苦手」という意識を持っている人が多いのではないでしょうか。周囲の人と円滑なコミュニケーションを取るためには、「言語化」は必要不可欠です。法則をマスターして「言語化」能力を身に付けていきましょう!!

今井司書のおすすめは…

913.6-ﾂ　『謎の香りはパン屋から』　土屋うさぎ∥著　宝島社

夏はパンが売れない季節と言われています。そんな夏に、本とパンが好きな私はみなさんへこの本をおすすめします！！

パン屋〈ノスティモ〉でアルバイトとして働く小春のもとに舞い込む日常の中のふとした謎。アルバイト仲間の不自然な振舞い、イートインスペースで起こった諍い、常連客を襲ったひったくり事件などを漫画家志望の小春が見事な観察眼で真相を見抜いていきます。

事件に絡めて様々なパンが登場し、普段知ることのないようなパンの起源などにも詳しくなれます。そして、何よりどのパンもとってもおいしそうで、パンが食べたくなるミステリーです。

最後に、みなさんはチョココロネを先っぽから食べる派ですか？それともおしりから食べる派？

横関司書のおすすめは…

913.6-ﾖ　『Ｔｕｇｕｍｉ』　吉本ばなな∥著　中央公論社

図書館にあるこの本、ボロボロです。どんなにたくさんの人が手にとったかがわかります。「つぐみ」はわがままで嫌な子と語り部のいとこ「まりあ」が断言しつつ、なぜか嫌いにはなれないとも言う不思議な感情。そして、「まりあ」の回想は、夏の海辺のエピソードが時間を前後しつつ、最後に夏が終わります。まさに「夏の推薦本」にうってつけ。

この本を読んだことのある親御さんはみなさんがわがままを言っても、きっと心の中で「つぐみ」みたいと思っていますよ。

吉村司書のおすすめは…　スペシャルゲスト(前年度司書)

913.6-ｱ　『人魚が逃げた』　青山美智子∥著　PHP 研究所

舞台である銀座にて、「王子」を名乗る人物が、ワイドショーのインタビューで「僕の人魚が、いなくなってしまって……逃げたんだ。この場所に」と答え、SNS で「#人魚が逃げた」がトレンド入りします。果たして王子は何者なのか？人魚は見つかるのか？

その人魚騒動の裏では、同日銀座に居合わせ、人生のターニングポイントに立っている５人の男女の物語に繋がります。12 歳年上の恋人と交際中の友治。明日ニューヨークへ留学する娘と買い物中の主婦、伊都子。絵画のコレクションにのめり込みすぎて離婚された渡瀬。文学賞の発表を喫茶店で待つ日下部。銀座の高級クラブの“ママ”である理世。

最後まで読んだ後は、思わず読み返しては、表紙を細かく見てしまうことでしょう。お話だけでなく、仕掛けも楽しめる、最後までしっかり読んでほしい作品です。